

授業科目名	【G】 法学政治学演習 I・II	区分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2		
		選択必修						
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	情報法に関する判例を学ぶ				担当者	渡邊 美樹		
授業概要	【概要】	『新・判例ハンドブック情報法』穴戸常寿編(2018,日本評論社)などの判例集から、情報法領域における重要判例を扱う。具体的な事例を題材にすることで理解を深め、ディスカッションを行うことで多角的視点を養う。						
	【到達目標】	判例を分析し、問題点を見いだす力を身につけるとともに、それを論理的に述べるができる。						
履修条件	特になし							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【○】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	特になし							
教科書	開講時に指定する							
参考書	適宜指示する							
評価方法	発表60%, 授業への参加態度40%							
フィードバック方法	質問については回答を、コメントシートについては解説を行います。							
評価基準	授業に出席するのみならず積極的に参加し、課題を達成するとともに、学習した内容をよく理解した者はその程度に応じて「S」または「A」、不足がある者はその程度により「B」または「C」とし、参加度または達成度が著しく低い者はその程度に応じて「D」または「E」とします。なお、所定の出席要件を満たさない場合などは「F」とします。							

授業 科目名	【G】 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
		選択必修				
授業内容	<p>発表担当者は、レジユメを作成しプレゼンテーションを行う。その後、ディスカッションを行なうことにより問題点を見いだすなど思考を深める。 ※初回はイントロダクションにて、レジユメの作り方やプレゼンテーションの仕方、授業を受けるにあたっての注意事項など</p>					
予習内容	<p>【発表担当者】判例について「事案の概要」や「判旨」をまとめ発表資料を作成し、プレゼンテーションの準備を行う 【発表担当者以外】判例について調べ、ディスカッションの準備を行う ※毎回90分程度の予習が目安となる</p>					
復習内容	<p>資料の再読、要点の再考など ※毎回90分程度の復習が目安となる</p>					
その他	<p>特になし ※Gか：【Ⅰは選択必修(A)・Ⅱは選択必修(B)】</p>					